



ワークショップ

『焼き杉船形プランターボックス』を作ろう。

概要

担当：国際たくみアカデミー×のぞみの丘ホスピタル
 日時：8月19日(土) 10:30~12:30
 場所：美術館庭園
 スタッフ：国際たくみアカデミー 17人、のぞみの丘ホスピタル 6人、美術館 3人、他
 参加人数：16人

「焼き杉船形プランターボックス」をつくるワークショップ。国際たくみアカデミーの学生、のぞみの丘ホスピタルの利用者が参加者とともに、10組のプランターボックスをつくった。バーナーで杉材を焼いて磨き、組み立てたプランターボックスを庭園の小川に飾った。

木を黒くするところをがんばった!!
 (岐阜市・12歳以下女性)

暑かったけど、普段できないことができたのでよかった。
 (岐阜市・30代男性)



バーナーで焼く



たわしで磨く



組み立てる



完成



川に設置



会場風景

初めてのアートづくりとても楽しかったです。協力してできたことがよかったです。
 (のぞみの丘ホスピタル利用者)

やっぱりものづくり楽しい!
 (国際たくみアカデミー学生)

子どもはバーナーで木材を焼く経験がないので興味津々でした。また、汗を流して軍手と顔を真っ黒にしながらも「楽しい!」と一生懸命に煤汚れを綺麗にする子どもたちがほとんど。普段体験できないことに戸惑いながらも楽しんでいました。
 (スタッフ)





ワークショップ

人型文様付き植木鉢に花苗を植えよう

概要

- 担当：国際園芸アカデミー×可茂特別支援学校
 日時：8月22日(火) 10:00～11:30
 場所：美術館庭園
 スタッフ：国際園芸アカデミー 22人、可茂特別支援学校 15人、
 岐阜県園芸福祉協会ボランティア 6人、美術館 3人、他
 対象：小学生以上(低学年以下保護者同伴)
 参加人数：15人

会期前に可茂特別支援学校で作った植木鉢に花苗を植えるワークショップ。国際園芸アカデミーの学生、可茂特別支援学校の生徒が参加者とともに、ダイアンサスの花苗を植えた。終了後、約450鉢を庭園の川に浮かぶ「焼き杉船形プランターボックス」に乗せ、庭を彩った。

説明が分かりやすくうまくできたのでうれしかった。

(岐阜市・12歳以下女性)

いつもと違って少し緊張しますが、違う環境でお花に触れて楽しい。

(可茂特別支援学校生徒)



土の準備



花植え



花植え



花植え



会場風景



プランターに設置

初めての交流時は話すこともままならず、その場にいることさえ大変な面もありましたが、時間とともに生徒の笑みがみられるようになり、今日は率先して会話ができる、話かけられれば返事する、笑みが出るなどそれぞれ違いはあれど、全員進歩してくれてこの交流に感謝しております。

(可茂特別支援学校教員)

鉢植えは普段ハウスの中で行うのですが、外の空気の中で出来ていつもより涼しい、それでも暑いのがいつもと違う汗をかけて気持ち良いです。

(国際園芸アカデミー学生)

学生と生徒同士の会話は、初めのうちは少なく、各校とも同校の生徒同士で盛り上がっていましたが、徐々に打ち解け初め、休憩後にはしっかりとした交流が生まれました。(スタッフ)





ワークショップ

日比野克彦の「ツナがる100の指令」

概要

担当：美術館
 日時：2017年8月25日(金)13:00~14:45、9月8日(金)15:00~17:00、
 9月9日(土)10:00~13:30/14:30~16:00、
 11月3日(金・祝)10:00~12:30/13:15~16:00 ※雨天のため、10月22日(日)は中止
 場所：美術館庭園
 スタッフ：日比野克彦、美術館 4~5人、他
 参加人数：8月25日 43人、9月8日 20人、9月9日 59人、11月3日 137人 計259人

日比野克彦によるワークショップ。参加者は日比野が出した5つの指令の中から好きなものを選び、庭園の各地でワークショップを行った。会期中、何度も参加する子どもや時間をかけてすべてのワークショップを行う大人の姿を見ることができた。

花を作って、その花に蝶がとまったことがうれしかった。

(下呂市・12歳以下男性)



指令ボード

ツナがる100の指令

- ①森と川がツナがる
森へ行き枯れ枝を探る。川で枝を洗う。枝に色をつけ(紙ねん土)花を咲かせよう。
- ②川と私がツナがる
トンボと川で遊ぼう。トンボの気もちで川に入ろう。
- ③私と時がツナがる
いろいろな色。素材のひもを3つあみ4つあみ5つあみ6つあみで時間を忘れ日陰でアミアミしながら時をすごそう。
- ④時と船がツナがる
今日の日付と今の時間を川のほとりに停泊している船に記そう。そして、今日の絵を描いてみよう。
- ⑤船と花と森がツナがる
花をつかって丸太にのせて川にながそう。



指令1



指令2



指令3



指令4



指令5

空の下、木に囲まれ風を感じながら、自然と共存しながらの制作活動は心ゆたかに穏やかな時間が過ごせました。

(愛知県一宮市・40代女性)

大人1人での参加でドキドキでしたが、他の方たちもおしゃべりしながらとても楽しく没頭してしまいました。また1人でも来たいくらいです。

(美濃加茂市・40代女性)

「川と私がツナがる」では小1の男の子が指揮をとり、他の参加者皆でトンボを川の流りに沿って楽しんでいました。(スタッフ)

アートマーケット
ツナがり
ツナ





ツナぐ・ツナがるスタンプラリー

概要

担当：情報科学芸術大学院大学[IAMAS] × 大垣特別支援学校
 日時：8月25日(金)～11月3日(金・祝)
 場所：美術館内 4か所
 スタッフ：情報科学芸術大学院大学[IAMAS] 4人、大垣特別支援学校 1人、他
 参加人数：配布したスタンプ台紙 1,709枚



スタンプラリー台紙



スタンプを押す様子

館内4か所に設置したスタンプラリー。大垣特別支援学校の卒業生・廣江凌さんのデザインを基に、在校生と情報科学芸術大学院大学[IAMAS]がスタンプ、台紙、のぼりを制作した。スタンプラリー完成特典として、10月6日開催の「café 和なごみー 泉美branch」での飲み物無料サービス、岐阜本巣支援学校「café 和なごみー」本店での割引を実施した。

- スタンプラリーは子どもさんが多く参加されていて、楽しそうに押していました。大人だけではなく誰でも気軽に参加できる美術館になって欲しいです。
(羽島市・40代女性)
- かわいいスタンプだったので押してみた。奥のスタンプ台の方でDVDをやっていると趣旨が分かりました。私は観てまわっただけですが、いろいろな大勢の人が楽しく参加できるイベントだと知ることができ、楽しめました。(各務原市・50代女性)
- スタンプラリー、子どもにかえったようで楽しくスタンプおさせて頂きました。
(岐阜県外・60代女性)
- 老若男女あらゆる人に人気でした。広報中、来館者との距離をあっという間にツナげてくれました。(スタッフ)



ナンヤローネットワークショップ⑥

アートでツナがる ツナげるアート

概要

担当：美術館
 日時：10月1日(日) 10:30～11:30/12:45～15:30 ※雨天のため、9月17日(日)より延期
 場所：美術館庭園
 スタッフ：美術館 4人、他
 参加人数：42人



しりとりアート飾り



絵手紙



説明

「ツナがり」をテーマとしたワークショップ。3種類のワークショップを実施し、完成した作品を庭園の木と木の間にツナげて飾った。

- ①庭園に落ちているものが「ツナがれば」
落ち葉など庭園に落ちているものを拾い集めて、正方形の板にホットボンドで貼り付ける。
- ②「ツナがり」たいあの人へ「ツナがって」いるあの人へ
短冊型の板にツナがりたい、ツナがっているあの人へメッセージをかくて、絵手紙を作る。
- ③絵しりとりで「ツナがれば」
小さな正方形の板に絵を描き、「アートまるケット」から始まり、「岐阜県美術館」で終わる絵しりとりを完成させる。

- 妻に誘われて、よい経験ができた。家族で作った作品が裝飾されるのはまた来館したい思いに繋がりました。(50代夫婦)
- 自分の想いが口にできる場所があるのは良いですね!(30代家族)
- BY80s FOR20s展を見に来て、興味深い催しが目に入り参加しました。自分の作品が作れてしかも展示できるのは嬉しいです。(20代男女)
- 午後からは、ロープでツナがった絵手紙などを見て参加された方もおり、人が人を呼ぶ形でお客様がツナがっていきました。(スタッフ)

アートまるケット
ツナがり
ツナがる

